

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察技術情報資料（第8号）の送付について

普通期稲における斑点米カメムシ類（8月中、下旬）の発生調査結果

普通期稲（穂孕期～穂揃期）の斑点米カメムシ類の発生状況について、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考にしてください。

記

8月中、下旬に実施したすくい取り調査の結果、1ほ場当たりの平均発生虫数は、県内全体では平年並でしたが、県中央部では平年に比べてやや多くなっています。また、発生ほ場率は、県中西部を除いた地域でいずれも90%を超えており、特に県西部は100%と高レベルでした。発生種は、イネカメムシ、クモヘリカメムシが県下全域で多く見られました（表1、2）。

向こう1か月の気象予報では、晴れの日が多く、気温は平年並と予想されており、カメムシ類の増殖に好適な条件が続くことから注意が必要です。出穂期以降にカメムシ類がわずかでも見られる場合、斑点米が発生することが予想されますので、防除適期である出穂の10日後頃及びその5～7日後に防除を行ってください。

また、ミナミアオカメムシは合成ピレスロイド剤の効果が劣るので、他系統の剤による防除を行ってください。

なお、防除にあたっては、農薬安全使用基準の遵守及び周辺の農作物への飛散防止対策について、指導の徹底をお願いします。

表1 普通期稲における斑点米カメムシ類の発生状況(令和3年度)

地域 (ほ場数)		ミナミアオ カメムシ	ホリハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカシジ カスミカメ	その他 (イネカメムシ主体)	合計	発生 ほ場率
東部 (12)	本年	1.6	0.8	3.8	0.0	2.2	10.7	19.1	92%
	平年	4.7	4.7	8.1	0.4	5.1	5.6	28.6	90%
中央部 (18)	本年	1.6	0.5	12.6	0.5	1.2	15.6	32.0	94%
	平年	3.6	1.4	12.7	0.8	1.5	2.9	22.9	91%
中西部 (28)	本年	0.2	0.2	2.3	0.0	0.2	0.4	3.3	68%
	平年	0.5	0.6	6.7	0.2	0.9	0.4	9.3	77%
西部 (8)	本年	1.0	1.0	4.0	0.0	1.9	5.8	13.7	100%
	平年	0.5	1.1	8.4	0.0	1.3	2.8	14.1	78%
県内全体 (66)	本年	0.9	0.5	5.6	0.1	1.0	7.0	15.1	83%
	平年	2.3	1.5	8.6	0.4	1.8	2.2	16.8	83%

※数字は1ほ場あたりの成幼虫数（捕虫網50回振り）